



病と闘う子どもと家族のサポートハウス

パンダハウス

発行

認定特定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会 事務局
TEL・FAX 024-548-3711
〒960-8157 福島県福島市蓬萊町八丁目15番地1
E-mail: office@pandahouse.org
ホームページ: http://pandahouse.org
ブログ: http://panda-house.blog.ocn.ne.jp/blog/
facebook: https://www.facebook.com/npn.panda.house

2014年4月 Vol.2

正会員数：61人 6団体 賛助会員：259人 30団体 (H25.9.30現在)

News Letter

認定取得のご報告と ごあいさつ



理事長 山本 佳子

平成25年10月4日に「認定NPO法人格」を取得しました！

認定NPO法人格のメリットについて

- ・個人が寄付をした場合、寄付金控除が受けられます。
- ・法人が寄付をした場合、捐金算入限度額の枠が拡大されます。
- ・相続人が寄付をした場合、寄付をした相続財産が非課税になります。



「パンダハウス」は、平成9年10月にオープンしてから16年間、福島県立医科大学で闘病中の子どもや家族に「(病院近くの)我が家」を提供してきました。

この間の医療の進歩は著しく、治療のために県内の患者さんやご家族はもとより、遠くはインド・ロシア・ベトナムなどの国外から、国内でも関西・北海道をはじめとして関東圏内からは多くの方々をお迎えしています(県外利用者割合44%)。最後の望みを託しておいでになった方々が福島で「命をつないで」帰郷されるお姿は、支援する側としても本当にうれしいものです。

ハウスの建設から足かけ20年もの間、多くの方々に支えられてこの活動が福島の地に成り立っていること、皆様に心より感謝申し上げます。

ただ、相変わらずハウスは、満室状態が続いており、昨年度は96%の稼働率になっています。遠方からいらっしゃった方々が

大きな荷物を持って移動されるお姿は見るに忍びないものがあります。2016年を目指している増改築のために、皆様のご協力をさらにいっそうお願いする次第です。

私たちの活動の基本は、闘病中の方々への共感の気持ちにあります。東日本大震災から3年がたちましたが、福島では原発事故の影響もあり、未だ故郷を離れ落ち着かない生活を余儀なくされていらっしゃる方々が多くおいでです。その方々のケアも必要とされていますが、急な転居、生活の変化は、闘病中の子どもやご家族も同じです。「大変なときだからこそ、」環境に配慮してさしあげたい。そんなときだからこそ、周りの方からの支えが頼りになるのではないのでしょうか？

皆様の力で、増改築を実現し、福島が「子どもたちの命をつなぐ」場となるように、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

増改築予定平面図



増改築費用

合計 **6,000 万円**

2016年(平成28年)12月 完成予定

- 居室は3室から6室に増えます。
- 家庭的な雰囲気を大事にしたキッチン、リビング・ダイニングを備えた2ユニットになります。

増改築のためにご寄付をいただいた総額

11,433,592 円

(平成26.3.31現在)



寄稿

患者さんご家族の第二の我が家 「パンダハウス」



公立大学法人 福島県立医科大学
理事長兼学長 菊地 臣一

東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故から3年余りが経過しました。

この3年有余、本学は福島県民の健康や医療を護る^{まも}ることを発生直後から決意して、職員一丸となって第一線に立ち続けてきました。そして、それは今も続いています。これまで、国内外の多くの皆様から、多大な御支援を戴きました。ここに改めて御礼を申し上げます。

パンダハウスは、難病と闘うお子さんご家族の方々に對して、我々医療従事者の行き届かない面での御支援を戴いております。


ご自宅から遠く離れた病院で治療を受けているお子さん、そのお子さんご家族にとって、滞在場所の確保は、経済的にも、心理的にも大きな負担となります。パンダハウスは、このような御心配に配慮して、安心して過ごせる安全な空間を安価

に提供している場です。それに加えて、訪れる方々に「親切なおもてなし」を感じてもらえるよう努力しております。その思想は「第二の我が家」です。この結果、多くの利用者の方から感謝の声をお聞きしております。

我々にとっても、患者さんご家族が、治療に専念しながら、時に、憩いの時間を持つことのできるパンダハウスの存在は非常に心強く、深く感謝しております。現在、パンダハウスは、県内はもとより、県外や海外からも患者さんを受け入れることができています。

今後、増改築の計画があるということです。パンダハウスの働きにこれまで以上に期待するとともに、我々も一層応援していきます。県内外の多くの皆様に、是非、これからもパンダハウスへの御支援を賜りますようお願い致します。

平成24年度
パンダハウス
稼働状況

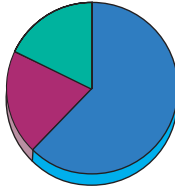


オープンから
現在までの
利用者数
(H9.10.10 ~ H24.9.30)

平成24年度 利用者数
(H24.10.1 ~ H25.9.30)

家族数	352 家族
延べ人数	2,000 人
稼働率	96 %

地域別家族数



- 北海道・東北
- 関東
- その他



利用者の声

User's Voice

●以前、長女が滋賀県の病院に入院した時は、このような施設がなかったため、アパートを借りましたので経済的にも、精神的にもとても大変でした。

今回は医大病院よりこちらの施設を紹介いただきました。病院に近く、清潔で、とても居心地が良く疲れがとれます。妻は付き添いをしていますが、私が来たときに交代してパンダハウスで休養してもらおうと思っています。入院している子どもが外泊できるようになれば、家族で利用させていただこうと思います。

快適に過ごすことができました。ありがとうございました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

●この度は、パンダハウスに宿泊させていただきました。ありがとうございました。

前回、入院した時は予約がいっぱいで取れず、ビジネスホテルを転々としていました。費用もかかりますし、段々と疲れてきてしまいました。今回は宿泊でき、とてもホッとでき、家にいるような感じで、ぐっすりとお休みことができました。とてもきれいに清掃も行き届いており、気持ちよく過ごす事ができました。

また、同じように子どもが入院している方々と交流することもでき、大変うれしかったです。

次回も空きがあればぜひ利用させていただきたいです。

●まずはじめにパンダハウスの開設にあたりご尽力いただいた全ての方々、運営委員、ボランティアの方々全ての方に心より感謝申し上げます。

群馬の病院より転院してまいりました。長期の入院を予定しています。入院して1ヵ月がたち高2の息子も私も、小児科という賑やかな病室にストレスを感じていました。看護師さんや主治医の先生に相談したところパンダハウスへの外泊を提案していただき、急遽利用することになりました。

パンフレットで拝見していたので、わくわくしながら来てみると想像以上に素敵な建物で、設備もあらゆるものが揃っており感動いたしました。息子と私は和室を利用させていただいたのですが、自宅に帰ってきたようなとても暖かい気持ちになりました。

2泊3日という短い期間ではありましたが、大変リフレッシュすることが出来ました。機会があれば、ぜひまた利用させていただきたいと思います。

感謝！！感謝！！です。お世話になりました。

ボランティアの方々もお体に気をつけて、これからも頑張ってください。



(H23.8.撮影)

活動報告

増改築キックオフイベント！

第1弾 (H25.10)

福島駅前&アオウゼ
街頭募金・チャリティバザー



62名の
ボランティアさんにご協力いただきました

第2弾 (H25.11)

チャリティーコンサート



ギタリスト 井上仁一郎さん



シンガーソングライター より子さん

医大バザー

H24.12 / H25.8



クリスマスプレゼント作り

H25.6~12



クリスマスプレゼント配付

H25.12

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日はイオン「黄色いレシートキャンペーン」に参加させていただいています。
お買い物時のレシートをパンダハウスのBOXに投函していただくことで、投函総額の1%をいただくことが出来ます。
今年は57,800円をいただくことになりました！



平成26年度 活動紹介 (予定)

- クリスマスプレゼント作成 6月~12月
- 花植え 5月・11月
- バザー (福島医大病院) 12月・8月
- 「リレーフォーライフ」参加 8月
- JHHHネットワーク会議参加 11月
(JHHH…日本ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス)
- 会津医療センター、いわき地区で
バザー、イベント、コンサート等を企画中！

「パンダハウスとチームストライカーの出会い」 日本ストライカー株式会社 橋本 あさ子

震災後1年半が経過したころ、私は被災地の復興のニュースが報じられる一方、まだまだ原発事故により苦しんでいる福島の方々がいらっしゃることを知るたびに「福島に対して何かできることはないか」と考えはするものの、具体的に行動を起こすことができない日々を送っていました。

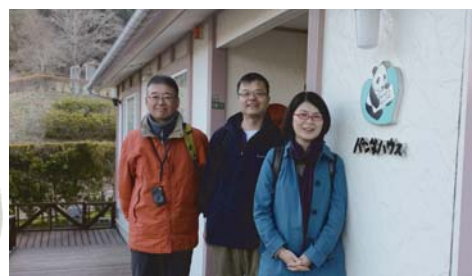
そんな時に、会社の人が参加した講演会の中で福島医大の菊地理事長が「福島の医療従事者は疲弊してきておりサポートを必要としています。」と話されると聞き、医療機器を販売している会社に勤める私達が何かお手伝いできることがあるかもしれないと思いました。とは言え、医療関係の免許を持つ訳でもない私達には、直接医療従事者のサポートをすることができません。何かできることはないかと探しているときに、「NPO法人パンダハウスを育てる会」をご紹介いただいたのです。

初めてパンダハウスを訪れたのは、2013年の7月20日でした。理事の皆様にご案内いただき、パンダハウスがどれほど重要な役割を担っているのか、理事の皆様がどれほどパンダハウスを大切に思っているのか、という真摯な気持ちが伝わってきました。翌月から、関連2社から数名が月に一度のボランティアに参加しはじめました。

これまで、あまり交流のなかった2社の社員が「チームストライカー」として一緒に取り組むのも初めてのことで。夏の草抜き、お部屋の掃除、バザーのお手伝いなど特別なことができた訳ではありませんが、チームワークのようなものが芽生えた

気がします。今年の初めには、全社会議の際にパンダハウスへの募金活動を行いました。多くの社員が活動に賛同し、募金してくれたことに大きな感動を覚えました。この時、自身もお子さんの闘病中に別のファミリーサポートハウスのお世話になった社員が、非常に助けられたと話してくれて、私達は改めてパンダハウスの意義と必要性を強く感じたのです。東京から福島まで参加できない社員もたくさんいますが、バザーに出品してくれたり、募金箱にお金を入れてくれたりという形で参加しています。

パンダハウスは愛に包まれた場所だと思います。この場所をサポートするために、ささやかな力になりたいと思わせてくれる場所です。利用される方々に直接お会いすることはありませんが、この場所を守るためにこれからもチームでできることをやっていこうと思います。



チームストライカーのみなさま



賛助会員加入と寄付金のお願い

- 賛助会員年会費 個人(1口) 3,000円(1口以上)
団体(1口) 10,000円(1口以上)

● 年会費・寄付金振込先

郵便振替口座番号：02200-9-110330

郵便振替口座名義：認定特定非営利活動法人
パンダハウスを育てる会

※他金融機関から、郵便振替の場合

店名 ニ二九(ニニキュウ)店 当座預金 0110330

ボランティア募集中!

- ボランティア研修会：4月
- ボランティア体験：毎月第1土曜日
- ボランティア内容：お掃除、庭の手入れ、バザー、クリスマスプレゼント作りなど



お問い合わせ／事務局 TEL・FAX 024-548-3711

お電話受付時間：平日10時～15時(事務局スタッフがおります)

またはメールにてご連絡ください (office@pandahouse.org)

スタッフ紹介

理事長 山本 佳子
副理事長 菊田 洋子
理事 安齋 豊子
 五十島 愛理
 石井 佳世子
 伊藤 五十子
 古関 令子
 鈴木 幸恵
 鈴木 正子
 清野 博子
 高橋 容子
 千葉 篤子
 古溝 陽子

監事 齋藤 敏昭
陽田 秀夫

アドバイザー

秋山 清一
 梅津 茂己
 菊田 敦
 佐藤 崇
 芳賀 裕
 横田 照彦
 中嶋 由美子

ハウスマネージャー

萩原 智恵子
 津田 郁子

パンダハウスにお世話になって、まもなく1年になるとうとしてます。最初は、毎日戸惑うことばかりでしたが、少しずつ慣れてきたところです。仕事も多岐にわたり、慌ただしく過しておりますが、利用者の方にとってホッと安らげる場所になることができるよう、お手伝いさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。



津田 郁子

編集後記

寒い冬が終わり、春の訪れに合わせて、第2号ニュースレターをお届けできる運びとなりました。2016年12月に、新しくなったパンダハウスで談笑できることを、今から夢見ております。

編集担当 石井佳世子

募金箱設置のお願い

200個の設置を目標に活動しています。まだ残りが45個ほどありますので、ご協力をお願いします。



募金箱設置箇所

(敬称略・50音順)

- (株)会津建設
- あずま通りクリニック
- あとリエ悠然
- (有)アメリカン美容院 [2個]
- (有)安藤自動車整備工場
- (株)伊藤製作所
- 一般社団法人 ライフク実行委員会
- 井上 慎一
- (株)ウェディングエルティ
- 氏家 洋子
- (株)エフコム [2個]
- a u ショップ吉倉
- 遠藤勝男
- おひさま子供クリニック
- (有)おりおり
- カーテン館タケダ
- (有)絵工堂 [2個]
- 加賀原接骨院
- 学校法人 有朋学園
- かまた鍼灸整骨院
- カントリーファームひらの工房
- GUITAR SHOP Nevermind
- 北芝電機(株)
- 絹の里
- (株)クロスソフトウェア
- 公立小野地方総合病院
- (株)はるプランニング
- 金剛院
- (株)コンピューターシステムハウス
- ザ・ホテル大亀
- サイトウ洋食店
- 齋藤 一子
- Community Café 志緒里 [2個]
- 睡眠館 雅貴
- スエゾーカフェ
- 鈴木 牧子
- ストライカーメドテック(株)
- スマイルズ Smiles
- 精華苑 [2個]
- (株)第一印刷
- 第一温調工業(株)
- 手打ちそば よしなり
- 東栄物産(株)
- 東京マイカー販売(株) [5個]
- (株)日産サティオ福島
- 日本ストライカー(株) [2個]
- 福島県立医科大学附属病院 NICU病棟
- 花の店 フローラ
- 磐梯高原ウルトラマラソン実行委員会
- harima美容室 [2個]
- (株)東日本計算センター
- ひまわり苑 [2個]
- (株)ハイブリッジモーターズ [2個]
- 福島県住宅生活協同組合
- 福島県中古自動車販売商工組合 [42個]
- 福島県庁消費組合
- 福島コミュニティ放送(株)
- 福島コンピューターシステム(株)
- (株)福島情報処理センター
- 福島ビューホテル
- 富士ゼロックス福島(株) [3個]
- ヘアサロンさんかく
- (有)ベル
- ホテル辰巳屋
- ホビープラザルピナス
- まちづくりコミュニティ ぜえね
- 松北町会
- (株)松屋
- まほう dō
- まんてん堂こどもクリニック
- 南会津町社会福祉協議会
- メイプル接骨院
- 山家整形外科
- (株)ユアテック 福島支社
- リトルウィングレディースアパレル
- れがーろ SHOES&FASHION SALON Regalo
- ロアフォルジュ司法書士事務所
- ワイザーエル(株)
- 渡辺健寿法律事務所
- 渡部 優

(H26.3.31 現在)

収支報告

平成24年10月1日
～平成25年9月30日

科目	金額
I. 経常収益の部	
1 受取会費	1,760,000
2 受取寄付金	4,715,196
3 受取助成金	1,123,380
4 事業収益	1,314,862
5 その他事業収入	11,839
経常収益合計	8,925,277
II. 経常費用の部	
1 事業費	8,306,754
2 管理費	1,030,149
経常費用合計	9,336,903
当期経常増減額	△ 411,626
当期正味財産増減額	△ 461,626
前期繰越正味財産額	15,879,839
次期繰越正味財産額	15,418,213

(単位：円)